



# テクニカル・メッセージ

## エア系統故障の早期発見・路上故障を未然に防止するために 運行前に空気圧力の上がり具合の点検をお願いします

運行前の点検で空気圧力（エアプレッシャーゲージ）の上がり具合を点検いただくことで、運行中に空気圧力が上がりにくいといった故障を未然に防ぐことが出来る可能性があるために、運行前点検の実施をお願いします。

### ■ 対象車両

大中型トラック、大中小型バスのフルエアブレーキもしくはエアオーバーブレーキ搭載車

### ■ エア系統故障し、空気圧力が低下した場合の車両に起こる事象の例

- ・ブレーキの効きが弱くなる
- ・変速操作が出来なくなる（プロシフト搭載車）
- ・車高の調整が出来なくなる（エアサスペンション搭載車）

### ■ 運行前の空気圧力の上がり具合の点検方法について

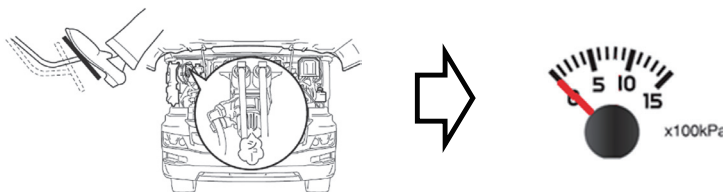
下記の手順にて、運行前に空気圧力の上がり具合（※1）を点検してください。  
空気圧力が上昇しなかったり、上昇に時間がかかった場合は、最寄りの日野販売会社または整備工場で点検・整備を受けてください。

**尚、点検を行う際は必ずタイヤの前後に輪止めを掛けてから行ってください。**

※1 上がり具合の目安は、下記手順③を参照ください。

#### 【点検手順(PP新長期規制 大型トラックの例)】

- ①ブレーキペダルを複数回踏み、エアタンク内のエアを全て排出してください。



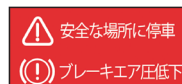
- ②メータ内のブレーキチェックランプの点灯やマルチインフォメーションに「安全な場所に停車・ブレーキエア圧低下」が表示されていることや、パーキングブレーキを解除した状態で警報ブザーが吹鳴するかを確認してください。（※2）

※2 チェックランプ等が点灯している間はブレーキが十分に効かないため危険です。絶対に走行しないでください。

<ブレーキチェックランプの点灯>



<マルチインフォメーションの表示>



- ③エンジンアイドリング状態で6分以内（※3）に②の表示が消えれば正常です。

※3 車種によって消灯するまでの時間は異なります。詳細は取扱説明書の「日常点検」の項目をご参照ください。



日野自動車